

## 生分解性の高い絶縁油を採用した環境調和型アモルファス変圧器を発売

株式会社日立産機システム(取締役社長:椎木清彦/以下、日立産機)は、株式会社ジャパンエナジー(社長:松下功夫/以下、Jエナジー)が開発した環境対応型の生分解性絶縁油「JOMOバイオエレタス」を採用することにより、このたび、環境負荷を低減する環境調和型アモルファス変圧器を開発し発売いたします。

絶縁油は、主に変圧器などの電力機器に使用される液状の電気絶縁材料で、最近では地球環境問題の関心の高まりとともに、生分解性などの環境性能が求められるようになってきております。

しかしながら、従来の鉱物油系絶縁油は、生分解性がほとんど無く、消防法上危険物の扱いとなります。

こうした中、Jエナジーは優れた生分解性や難燃性を有した、引火点が高く消防法上非危険物に分類される生分解性絶縁油「JOMO バイオエレタス」を開発しました。

### ● <JOMOバイオエレタスの特長>

#### 1. 優れた生分解性を有する

ポリオールエステル系合成油を基油としており、自然界の微生物によって分解されるため環境負荷が低い。

#### 2. 難燃性を有する

燃焼点(継続燃焼温度)が300°C以上で難燃性を有しており、且つ引火点が250°C以上で消防法上非危険物に該当する。

#### 3. 安定性に優れている

不飽和成分、不純物等が少ないことから耐熱性、酸化安定性に優れている。また、絶縁耐力が高く鉱物油系絶縁油と同等の絶縁性も備えている。

日立産機は、この「JOMOバイオエレタス」をアモルファス変圧器に採用することで、電気的性能ならびに本変圧器の特長である省エネルギー効果を下げることなく高い環境負荷の低減を実現いたしました。

さらに絶縁油が漏洩した場合の環境(土壌)汚染防止、難燃性による防災型変圧器としても期待されます。

以上